

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

J R 東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 笹渕 太郎

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら!

謹賀新年

組合員の皆さまとご家族におかれましては、令和4年の清々しい初春を迎えられた事とお慶び申し上げます。また平素よりJR東日本労働組合秋田地方本部に対してご指導、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大や変異株の出現など新型コロナウイルスに翻弄される一年となりました。昨年末で日本国内の累計感染者数は173万人を超え、お亡くなりになられた方についても1万8000人を超える状況になっています。新型コロナウイルスの感染拡大は人との繋がりを断ち、私たちの社会・経済・生活・働き方、そして組合活動に対して大きな影響を及ぼしています。私たちはその働き方の部分で経済を支える公共交通機関のエッセンシャルワーカーとして感染防止、感染防止対策を徹底しながら安全・安定輸送の確保のため日々仕事に打ち込んでいます。そういった中で2021春闘、夏季手当、年末手当では悔しい思いをする結果となりました。今後、加速していく2022春闘では厳しい情勢になりますが、賃金は労働力の対価である以上、社員の奮闘や苦勞に対して会社からしっかりと応えてもらうために本部方針が決定次第、秋田地方本部としても取り組みを進めて行きます。そういった中でも昨年嬉しいニュースもありました。秋田地方本部で1名の新しい仲間が加入してくれました。これは何でも話ができる関係づくりが出来ているから得られた結果であり、日頃の労働運動が評価され選択されている証拠だと思えます。地道な労働運動の継続が着実に加入へと身を結んでいます。若い人がいる組織としてJR東日本労働組の労働運動を次代へ繋げる取り組みを築き、活動の中心が平成採用以降となる前にもうひと踏ん張り、もう1歩踏み込んだ取り組みで組織の強化・拡大へ繋げていきましょう。

まだまだ先行きの見えない中ではありますが、いかにして組合員とご家族の安全と健康、そして労働条件を守り、改善する取り組みをできないかを考え、意見を出し合い、より創意工夫した労働運動で環境の変化に柔軟に対応していきましょう。今年1年が皆さまにとって明るく希望に満ちた年になりますように、共に頑張ることを誓いまして新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

秋田地方本部執行委員長 笹渕太郎

執行部・職員一同